

平成 28 年 7 月 24 日 (日)

夏休みコンサート



特別号

発行：栄フィル夏休みコンサート事務局



オケフェスも同時開催！

今年は、誰もが知っているクラシックがテーマ
栄区制30周年にふさわしい「コンサート」！

朝、目覚めて、「へ」のスイッチをつける流れでくる「へ」番組やCM、街に出かけてお店などで流れてくる音楽・・・耳を澄ますと、自然と目の前に壮大な宇宙が広がった、無性に走りたいなったり、ある時は「おやつ時間だー！」と急におなかがすいて来たり、またある時は想像を絶する不思議な風景に驚いたり・・・私たちはこのように、いつもさまざまな音楽に囲まれて生活していることに気づかされます。そんな私たちの生活に密着した音楽にも、たくさんクラシック音楽が使われています。



今年で4回目を迎える1日団員コーナーは、白い犬のお父さん

のCMでおなじみのチャイコフスキーのくるみ割り人形より「葦笛の踊り」と、「ゼーの歌劇「カルメン」より「闘牛士」です。難曲にチャレンジして一生懸命練習してきてくれる1日団員の皆さんに刺激を受け、栄フィル団員一同も初心に帰って、和やかな雰囲気の中にも「みんなで一つの音楽を奏でよう！」と、とっても充実した練習になっています。そんな栄フィル&1日団員の熱い演奏をお楽しみに！



毎年好評で、皆さんもお楽しみ
の指揮者コーナーは、バレエ音楽の「コッペリア」より「マズルカ」です。昨年のワルツに続き、今年も3拍子の軽快なダンス「マズルカ」、皆さんも軽やかに指揮棒を振ってみませんか？指揮者の平川先生、タッチー君もやさしく教えてくれるので大丈夫です。多数のご応募、お待ちしております！

また、今年は栄区制30周年、音楽について、皆さんに、より身近に感じていただきたいので、栄図書館、栄区音楽協会にもご協力いただいて、初の試みでオーケストラフェスティバルを企画しました。

図書館の方々に音楽に関するお話の読み聞かせをしていただいたり、よりたくさんの方を知っていただけるよう、音楽の本を紹介していただき、これをきっかけにクラシックやオーケストラにたくさん興味を持っていただいて、夏休みの自由研究等にも活用していただけるとうれしいです。

さらに夏休みコンサートでは、同じ栄区内で活動する合唱団の方々と一緒に「ハレルヤ」を演奏します。オーケストラと合唱の共演はベートーヴェンの「第九」が有名ですが、「ハレルヤ」はキリスト教で神様への賛辞に使われる言葉であるとともに、嬉しい時にも使う言葉だそうで、記念すべき30周年にふさわしいお祝いの曲になりますね。

それでは、夏休みの午後のひととき、オーケストラフェスティバル&夏休みコンサートによる音楽のワンダーランドを大いにお楽しみください！

(夏コン委員 Y)

第4期生を迎えた1日団員コーナー

1日団員コーナーは毎年好評の企画となっております。今年で4回目を迎えました。連続で参加するリピーターの子も達が半分、毎年新たに参加してくれる子ども達が半分と、毎年入れ替わりながら進化し続けています。参加者は毎年春先に募集をしているのですが、毎年参加してくれた子が、「今年は受験があるので来年にしま

す」と連絡がくると、事務局としても「初めて会った時は小さい子だったのに、そういう年齢に成長したんだな」と感慨深くなります。一方で、1日団員として活躍していった後、団員として本格的にオーケストラに参加してくれる子が何人か出てきました。オーケストラの楽しさを体験できる機会として「少しは意義ある時間を過ごしてもらえたかな・・・」と手こたえも感じつつあります。

(夏コン委員 S)

指揮者に突撃インタビュー

今年、2回目の夏コン指揮者となる平川先生に質問してみました！

◆栄フィルの印象は？

「日曜日の朝からの練習なのでさわやかな感じがします」とのこと。夜に練習があるアマチュアオーケストラが多い中、日曜日の朝からの練習は先生にとって新鮮だったようです。

◆昨年に引き続き1日団員のコーナーについてはいかがですか？

小学生から高校生までの学生が一生懸命練習して栄フィルの一員として参加している姿をみて、先生自身が音楽を始めたころを思い出されたそうで、その純粋な姿に胸を撃たれますとのことでした。1日団員との練習では、「休符をみんなで感じてみよう！」「合わないのはね。主役がフルーツだからね。そのメロディーをよ〜く聴くと解決していくんだよ」など先生の優しい指導ぶりが印象的でした。

◆「最近ハマっていること」は？

なんと『ダイエットのために？？バッチングセンターへ足しげく通っていること』だそうです。

110キロ～120キロのボールに挑戦し、カーンと打った時の爽快感は病みつらしいですよ！

音楽にスポーツに多才な平川先生でした！

学生が多く、管楽器は部活動で楽器を吹いている中学生が多めです。兄弟・姉妹で参加する子も毎年何組かいます。同年代のお子様は楽器を習わせている方がいらっしやいましたら、お勧めです！

弾いている曲は「へ番組や様々な場所のBGMでかかっているような有名な曲で、「いつか弾いてみたい」と思っている曲がほとんどだと思えます。次回までまた時間が空いてしましますが、毎年3〜4月に募集案内をホームページや広報誌、チラシなどでご案内していますので、ぜひチェックしてみてください！



1日団員練習風景・後ろはそれを見守る保護者のみなさん

★第1回：エルガー
威風堂々 第1番

★第2回：チャイコフスキー・バレエ組曲
くるみ割り人形より「花のワルツ」

★第3回：チャイコフスキー・バレエ組曲
白鳥の湖より「情景」、眠りの森の美女より「ワルツ」

(夏コン委員 G)

秋の定期演奏会 「英雄」をきこう

栄フィルの次回定期演奏会のメインプログラムはベートーヴェンの交響曲第三番「英雄」です。この曲は、フランス革命後のヨーロッパで活躍した英雄ナポレオンにささげるために作曲されました。題名通り、スケールが大きく、荘厳なイメージの曲で、当時の激動のヨーロッパの風景が思い浮かぶような曲です。ぜひ、演奏会に足を運んでいただき、ナポレオンが活躍した時代に思いをはせてください。

(奇稿)オーケストラってなんだっけ？

オーケストラフェスティバルで、オーケストラや楽器などに関する豆知識やクイズを展示することとなった。ところが、「さて、オーケストラって、そもそもなんだっけ?」「いったいいつできたんだろう?」「...さまざま疑問がわいてくる。

筆者は、長年オーケストラで演奏しているが、改めて考えてみるとどれもよくわからない。あわてて、たくさんの本をかき

集めて調べてみると、これが結構楽しかったりする。オーケストラには楽器を演奏する演奏家や指揮者以外にも多くの人たちが運営に関係し、また楽器の特徴やそれぞれの役割なんかも調べると意外に興味が深い。そういったオーケストラにまつわる話を知っていてコンサートを聞くのと、知らずに聞くのでは大違い！

さらに、クラシックの曲は、作曲家の無言のメッセージと言われている。何も考えずに作曲なんかするはずないから、当たり前と言えは当たり前だが、でもこれも調べてみると奥が深く「あつ、あのメロディーはそんな意味があったんだ!」って感じ。



絵画などの作品を見るときは、その背景や作者の意図を知っていると100倍楽しめる。栄図書館で「オーケストラ」「作曲家」「曲」などに関する本を借りて、少しでも知識を持っていると、楽しさが格段に増えること間違いなし！



本日の楽器の配置

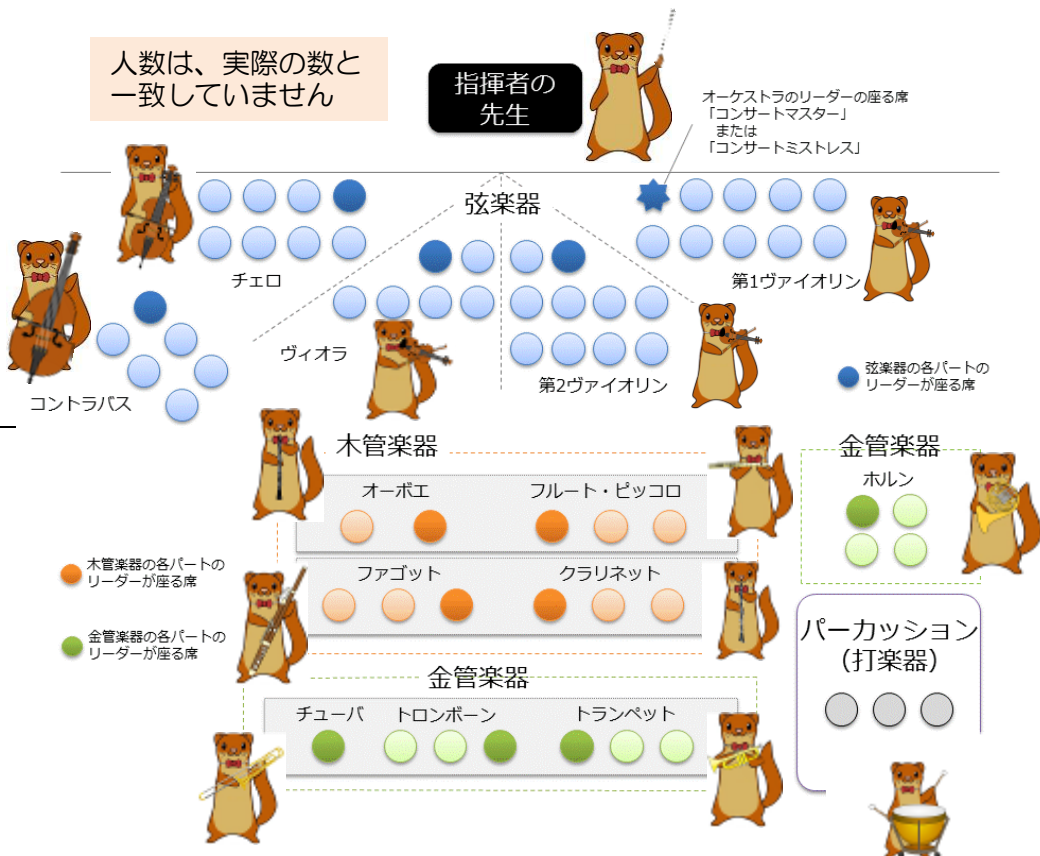
オーケストラの楽器の並び方(配置)には、様々な形がありますが、本日の配置は、日本のオーケストラでは、標準的な並び方です。昨年の栄フィルタムズでも紹介しましたが、配置は、演奏する曲の編成、楽団の事情、指揮者の好み、演奏するホールでの音の聞こえ方、など様々な要因を考慮して決定されます。本日の並びでは、弦楽器の音が、客席から見て、左から右手に向かって順に低くなっていくことが特徴です。弦楽器の演奏者にとっても弾きやすい配置といわれています。

栄フィル賛助会へのお誘い

栄フィルでは、皆様に愛されるアマチュアオーケストラを目指して、質の高い演奏をお届けできるよう日々努力を重ねております。年2回の定期演奏会を中心に、子どもから大人までみんなで楽しめる夏休みコンサートなど幅広く活動しております。活動の幅を広げていくにあたり、私どもの活動にご賛同いただき、ご支援して下さる「賛助会」の会員様を募集しております。詳しくは、プログラムの挟み込み資料、もしくは



は栄フィルホームページをご覧ください。ご入会をお待ちしております。(夏コン委員 G)



【おまけ】

タッチー君が楽団員となったタッチーオーケストラを作ってみると、これが予想以上に可愛い! 「ゆるキャラグランプリ」に出場している他のキャラクターと比べても、タッチー君の可愛さはダントツ。今年のグランプリでは、みんなの応援で上位にランクインして、有名になって欲しいと思います。

《発行者》

夏コン委員長 脇本源一